

令和3年度PDCAサイクル(栄養サポートチーム:NST)

P



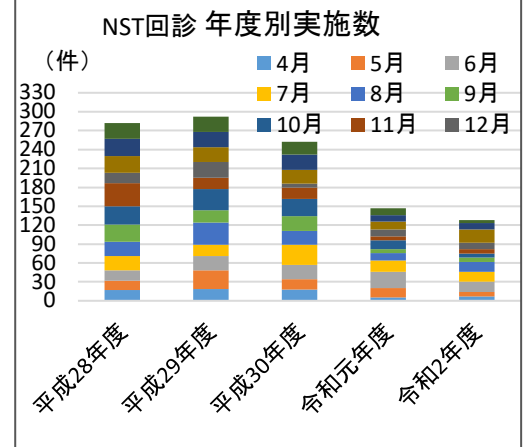
<問題点> 現在、NST回診対象者は、救急部入院の欠食患者が主で、それ以外
は手挙げ方式としていますが、NST回診依頼の数はごく少数です。全入院患者の
うちNST回診が必要な患者がどの程度いるか調査し、スクリーニング方法を見直し、
必要な患者にNSTが積極的に介入できるシステムを構築する必要があります。

<プラン> 栄養評価指数"CONUTスコア"院内導入を進める。

CONUT (CONtrolling NUTritional status: コニュート)は、一般的な血液検査項目であ
るアルブミン、総コレステロール、総リンパ球数をスコア化し、3つのスコアを足して求め
たCONUTスコアを栄養評価の指標として用いるものです。

栄養不良レベルは正常、軽度、中等度、高度の4段階に評価されます。

CONUTスコアを院内導入することで、入院時栄養スクリーニングとして栄養不良患者
の抽出ができ、適切な栄養管理につながる事が期待できます。



まずは、このCONUTスコアの導入と有効な活用方法の構築を目指します。

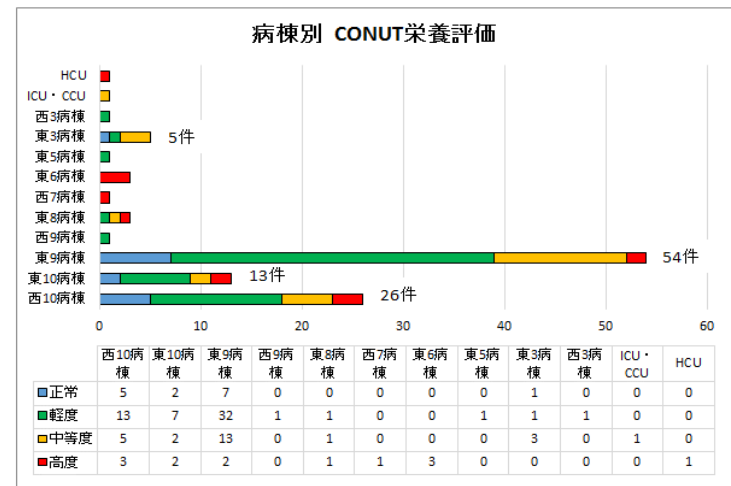
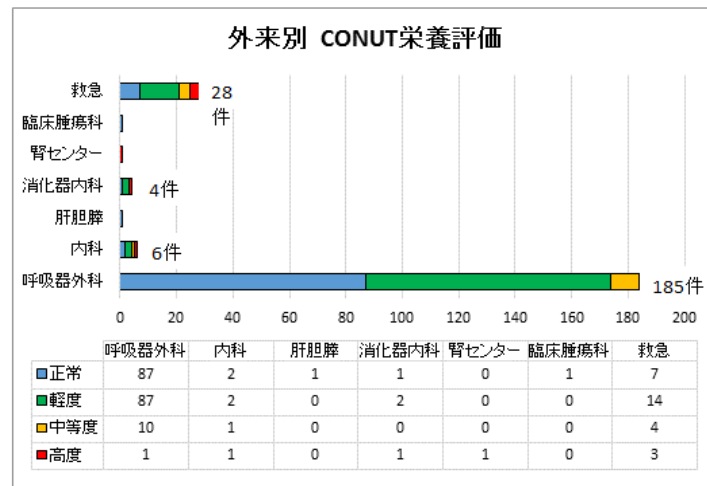
- ①入院時に、すべての患者で「栄養セット」(仮名)として検査オーダーできるシステム作り
- ②CONUTスコアを参考にスクリーニングし、NST回診につなげる流れの構築
- ③院内スタッフへのCONUTスコア導入の案内と実施協力依頼

D



10月より栄養評価(CONUTスコア)を検査オーダー項目として導入。

★栄養評価(CONUTスコア)実施状況報告 集計期間: 2021年10月1日から2022年1月17日 総依頼件数336件



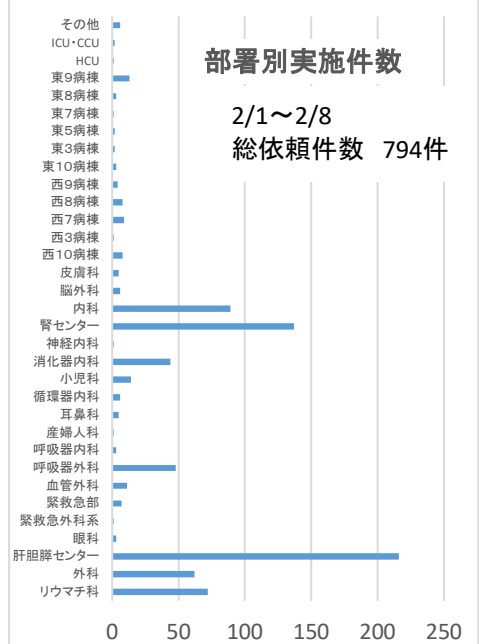
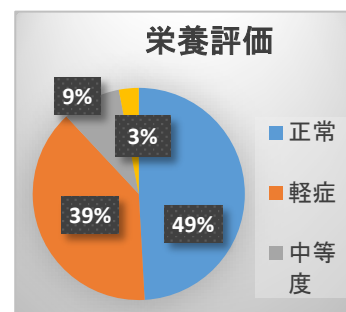
C



- ・10月～1月では、CONUTスコアの依頼は一部の医師からのみで、非常に少なく、
栄養状態についての全体的な把握や評価は難しい状況。
- ・総リンパ球数、アルブミン、総コレステロールをそれぞれ単独で依頼している場合は
CONUTスコアが算出されず栄養評価結果が表示されないため、システムを見直す
必要あり。
- ・件数を増やすため(できれば全入院患者で実施)、医局幹事会等を通じて啓発活動をし
ていく必要あり。

<栄養評価(CONUTスコア)の自動計算追加 >
2022年2月1日から、必要な3項目のオーダーがあれば
自動計算される機能を追加し、
実施件数が大幅に増加。(2/1～2/8 794件)

・CONUTスコアによる栄養評価 (2/1～2/8)
正常 49%、軽症 39%、中等度 9%、高度 3%



A



* 2/1からのCONUT栄養評価のシステム変更により、実施件数が大幅に増えてきましたが、引き続き、医局幹事会で定期的
にCONUTスコアの紹介と入院時実施を依頼して、件数を増やしていくこととしました。
特に4月は新任医師等も着任することから、医局幹事会で説明と依頼をする予定です。

* データも増えてきたことから、CONUT栄養評価の有用性検証の第一歩として、各専門領域の指標との関連性等を調査し、
検討していく予定です。

* CONUT栄養評価の有用性が検証されれば、NST回診や適切な栄養管理への有効活用方法を検討し、栄養状態の悪い(特
に高度栄養不良患者)に積極的に介入していけるようなシステム作りをしていこうと考えています。